

俺の妹
萌子

髪はいつもボサボサ
部屋着はジャージ一択
鬱陶しい前髪でだいたい顔は見えない

夏休みだと言うのに
家に引きこもって
パソコンばかりいじってる

はつきり言って名前負けも良いところ
萌る要素は一個もない



ちようと俺が風呂から上がると
入れ替わりで萌子が風呂へ向かう

萌子がきてるジャージ
確か俺の高校の時のお下がりだったはず
兄貴のジャージずっと着てるのイヤじゃねえのかね

尻だけパンパンじゃないか

ん…?



萌子の部屋の扉が少し開いていたので
なんとなく覗いてみると
つけっぱなしのPCになにやら書きかけの
メモ帳…

そこには俺と妹の
エロい行為が綴られていた

マジか…これ
俺との妄想日記…？

あの色気のカケラもない
ダサ地味の萌子が…？

それになんだ
この兄妹ものの
エロ本…

とんだむっすりすけべじゃねえか

おっおっ
お兄ちゃんっ
ななななにしてるの？



おい…?
なに脱いでんだよ

つてかジャージの下裸かよ!

胸の谷間が見える…
かなりデカイ
おいおいおまえ…
デカイのは尻だけじゃなかったのか

じゅ

俺を見つめる萌子
いつもうつとおしい前髪で
隠れている顔が見える

こいつの顔久しぶりに見たけど
まあブスじゃないな…
というか結構かわいい…?

それよりなんでそんな目で
見つめてくるんだ

まさか…



あっあっあのねっ

わわわわたし!!
お兄ちゃんとせっせっせつくすが
したいの!!!

まじかー…



そういうと萌子は
その大きな胸を俺の前に晒した

顔真っ赤じゃん
なんか汗かいてるし

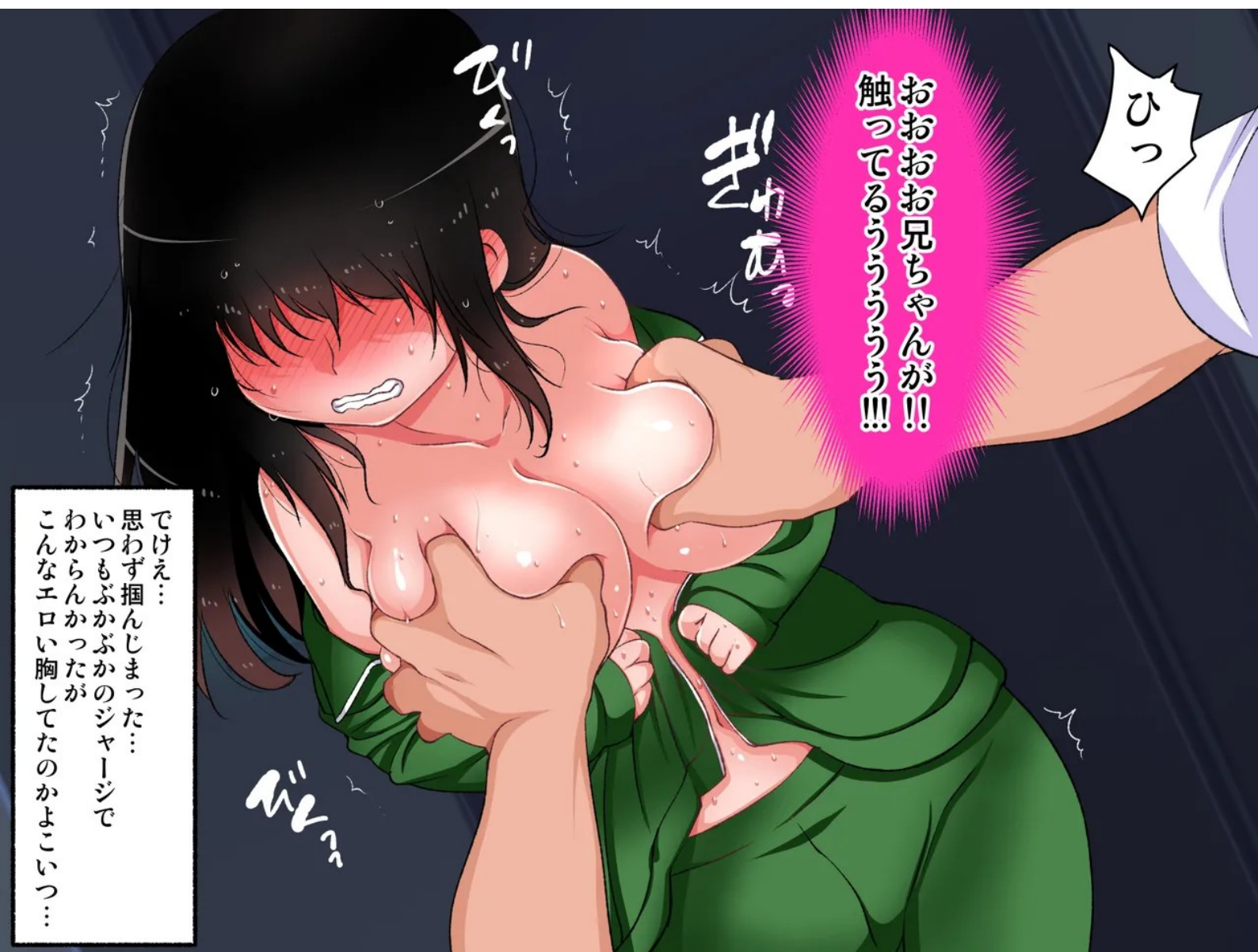
おまえのそんな顔初めてみたぜ…

お…お兄ちゃんに
おっぱい見せちゃった…
ドドドドどうしようっ

勢いで…言っちゃった…
あああ恥ずかしいよお

どうしようどうしよう…
引かれたかな…?
どうしよう…





ひっ

おおお兄ちゃんが!!
触ってるうううう!!!

ぎゅあ

びん

びん

でけえ:
思わず掴んじまった:
いつもぶかぶかのジャージで
わからなかったが
こんなエロい胸してたのかよこいつ:

萌子のやつめっっちゃ汗かいてるし
息荒いんだけど

え？
掴んだだけなのに
感じてんのか…？

お兄ちゃんが私のおっぱい
揉んでる…

どどどどうしよう…
夢みたい…気持ちいいよお…

あっあそこ濡れてる……



あつ

あつ

あつ

ダメ…ダメ…
あそこむずむずする…
我慢できない…

気持ちいい…
気持ちいいよお
おっぱい気持ちいい…
お兄ちゃんの手…
ごつごつの手…

もう…ダメ…ダメ…
イク…イク…

はー

はー

はー

え…
まさかイってる？

こいつ…エロくね？
ほんとに俺とエロいこと
したかったんだな

股の部分の色が変わっていて
一瞬漏らしたのかと思ったが
…胸だけで濡れすぎだろ

じわあぁ

ガク
ガク

ガク



萌子の反応がエロくて
しばらく胸を揉んでいると
ズボンに手を突っ込んで
自分でいじり始めた

無意識なのか
グチャグチャ凄いい音をたててる

お腹の奥がむずむずして…
ダメ…ダメ…ダメ…
我慢できない
おかしくなっちゃう

おっ
お兄ちゃん…っ

お願い…
さっ…触ってえ…

はあっ
はあっ

はあっ

おまんこ触ってえええ

今まで意識もしてなかった妹の
こんな姿を見せられ
お願いされて
俺の息子も反応してしまった…

グチャ





萌子のおまんこは
びっくりするほど
グチャグチャに濡れて
指2本
すんなりと入った

んっ
んっ
んっ

んっ

ぐちゃっ...

は...入ってきた...
お兄ちゃんの指が...
硬くてごっごつの指があ...



動いてる！動いてる！
中で動いてるよお！！

想像より凄い…
お兄ちゃんの指…っ
こんな気持ちいいの…っ

想像してオナニーしたより
ずっとずっと凄い…

気持ちいい…あっ
お兄ちゃんのゆび…
気持ちいい…あん
あっ…ああん

うわ…汁がすげえ…
タオルとか敷いてないけど大丈夫かこれ…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ



凄い音...白い汁出てきた
本気汁ってやつか...

あ...
イク...イク...
イク...っ♡
いつちやう...♡

おっ♡
お兄ちゃんっ
いつちやう
いつちやう
いつちやう
イクうううっ♡

あ...♡
あ...♡
あ...♡

ガク

ガク
ガク

ぐちゅ
ぐちゅ

ぐちゅ
ぐちゅ

ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

ガク

絶頂した萌子の全身は
赤く染まり汗でびしょびしょに
濡れていた

まんこからは白濁マン汁が
大量に流れ出て

めちやくちやエロい…
正直今まで付き合った中でも
こんなエロい女は初めてだ

こんな身近に
こんなとすけべ女がいたなんて

妹だっていうのに
もったいねえ事したな…
なんて思ってしまった

トク…

妹とセックスする事に
不思議と罪悪感も嫌悪感もなく

俺のチンコは痛いぐらいに勃起して

とにかく今この目に前にいる
エロい女のグチャグチャに濡れた穴に
突っ込みたくてたまらなかった





おっ
おっ

おチンチン…

お兄ちゃんのおチンチン…っ

ずっと想像してた…
お兄ちゃんのおチンチンが…っ

どうしてそんなに
おつきくなってるの

わっわたしに
入れたいの？

わたしのおまんこに
入れたくて
そんなになって
くれてるの？



お兄ちゃんわたしとせつくす...
してくれるの？

嫌じゃないの？

ほんとに？
ほんとに？

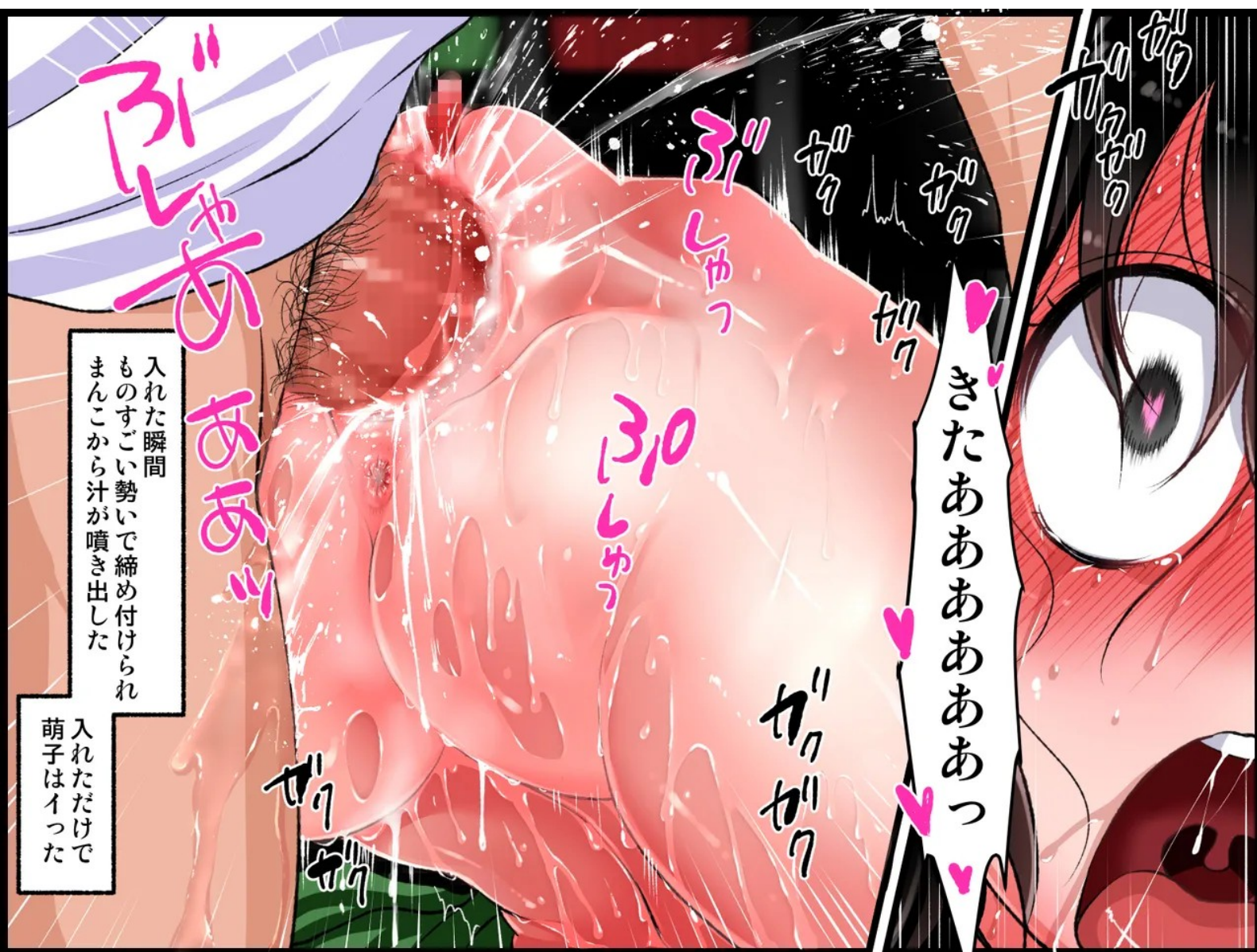
ほんとに？

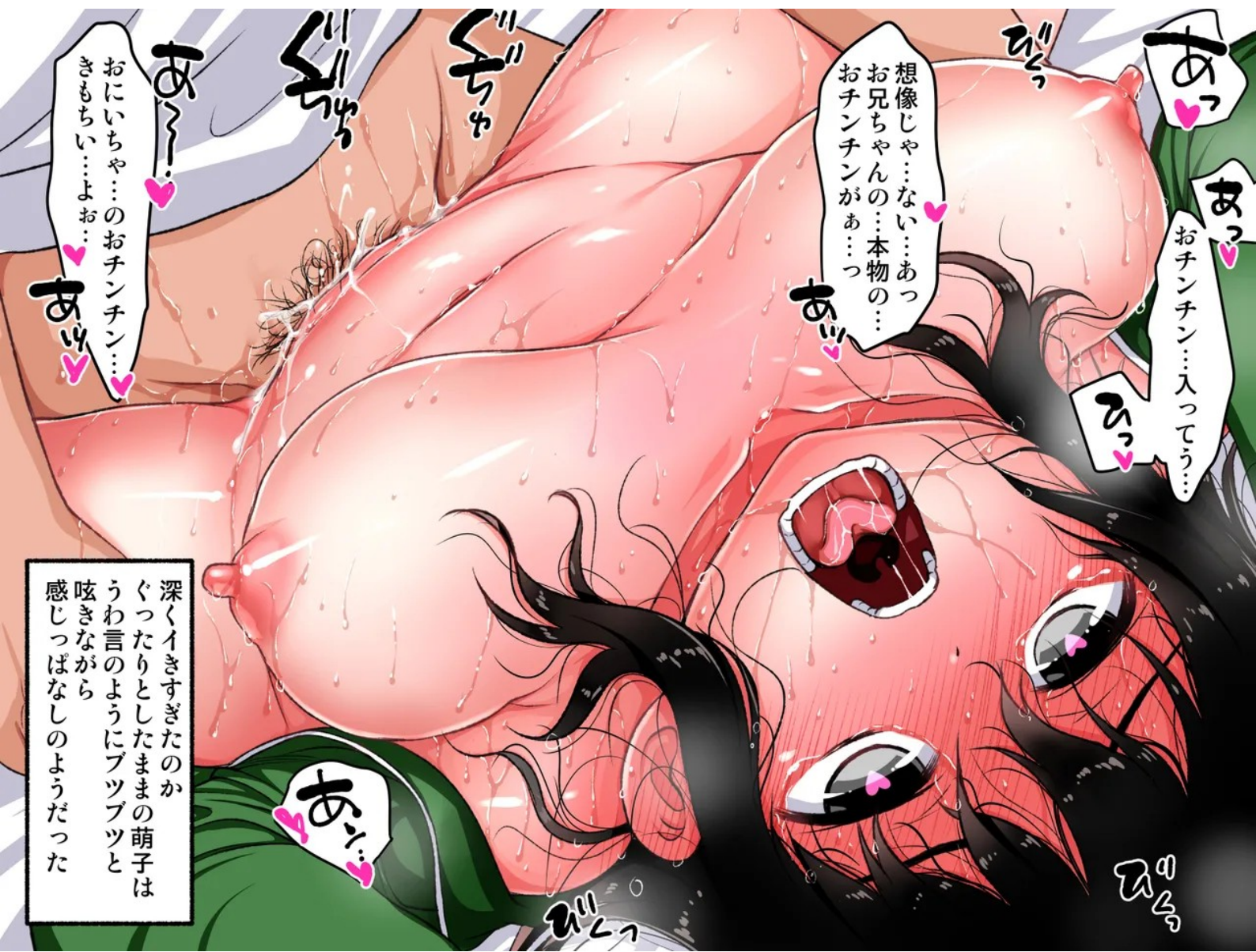
あつあつあつ
入ってくる...
お兄ちゃんのお
チンチンがつ

わたしの
おっおまんこにつ

入って...

ぐちゃぐちゃ





想像じゃ…ない…あつ
お兄ちゃんの…本物の…
おチンチンがあ…っ

あつ
おチンチン…入ってう…

あつ

あつ

あつ
おにいちゃ…のおチンチン…
きもちい…よお…

深くイきすぎたのか
ぐったりとしたままの萌子は
うわ言のようにブツブツと
呟きながら
感じっぱなしのようだった

俺もたまらず萌子で抜こうと
腰を動かす

おチンチンが…
擦ってる…わたしの…

あ

ひ

あ

ひ

わたしのおまんこ
お兄ちゃんのおチンチンで
こすられてる…

あ

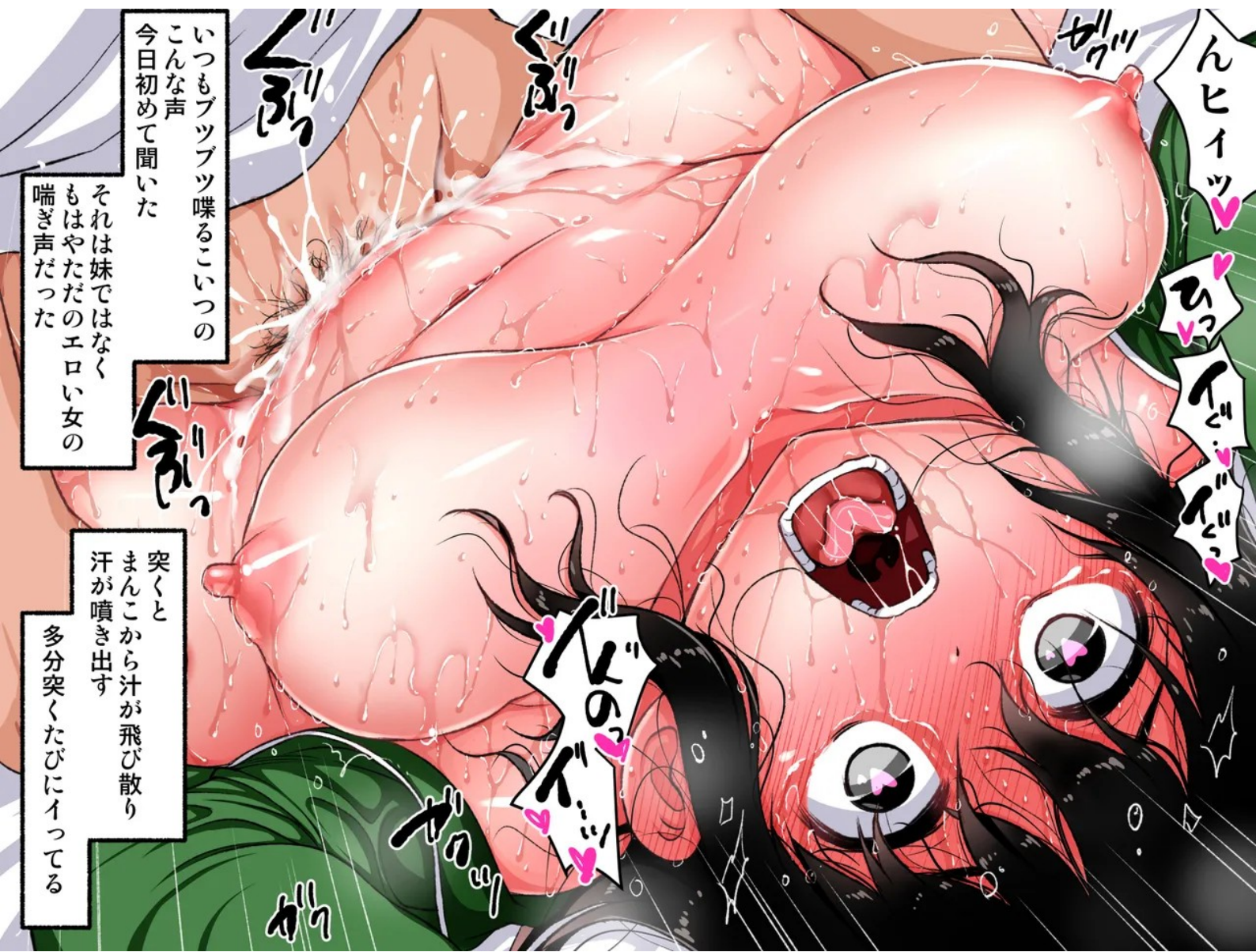
お兄ちゃん
お兄ちゃん
お兄ちゃんのでえ…

あ

ひ

ひ





いつもブツブツ喋るこいつの
こんな声
今日初めて聞いた

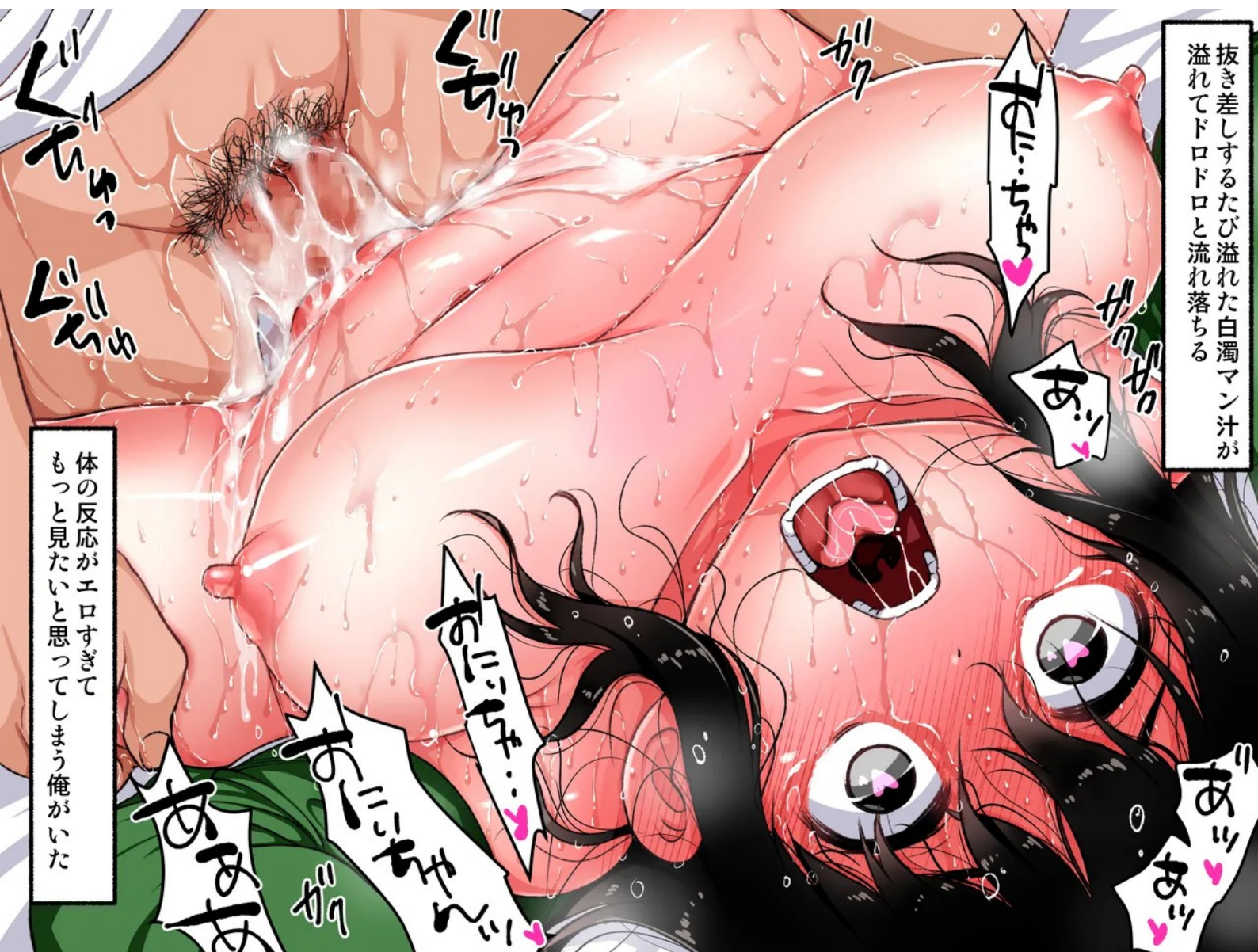
それは妹ではなく
もはやただのエロい女の
喘ぎ声だった

突くと
まんこから汁が飛び散り
汗が噴き出す

多分突くたびにイってる

抜き差しするたび溢れた白濁マン汁が溢れてドロドロと流れ落ちる

体の反応がエロすぎて
もっと見たいと思つてしまう俺がいた

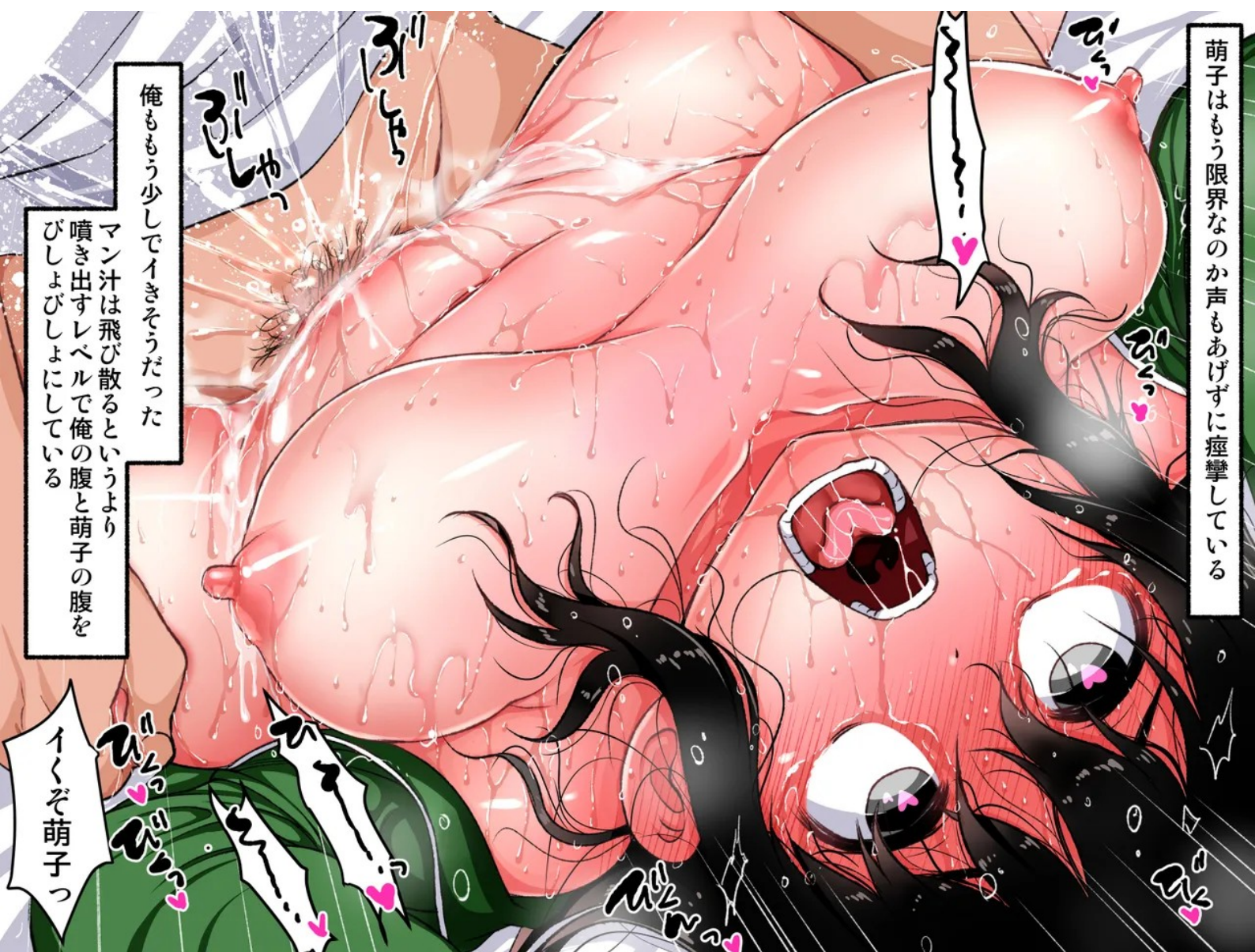


萌子はもう限界なのか声もあげずに痙攣している

俺ももう少しでいきそうだった

マン汁は飛び散るというより
噴き出すレベルで俺の腹と萌子の腹を
びしょびしょにしている

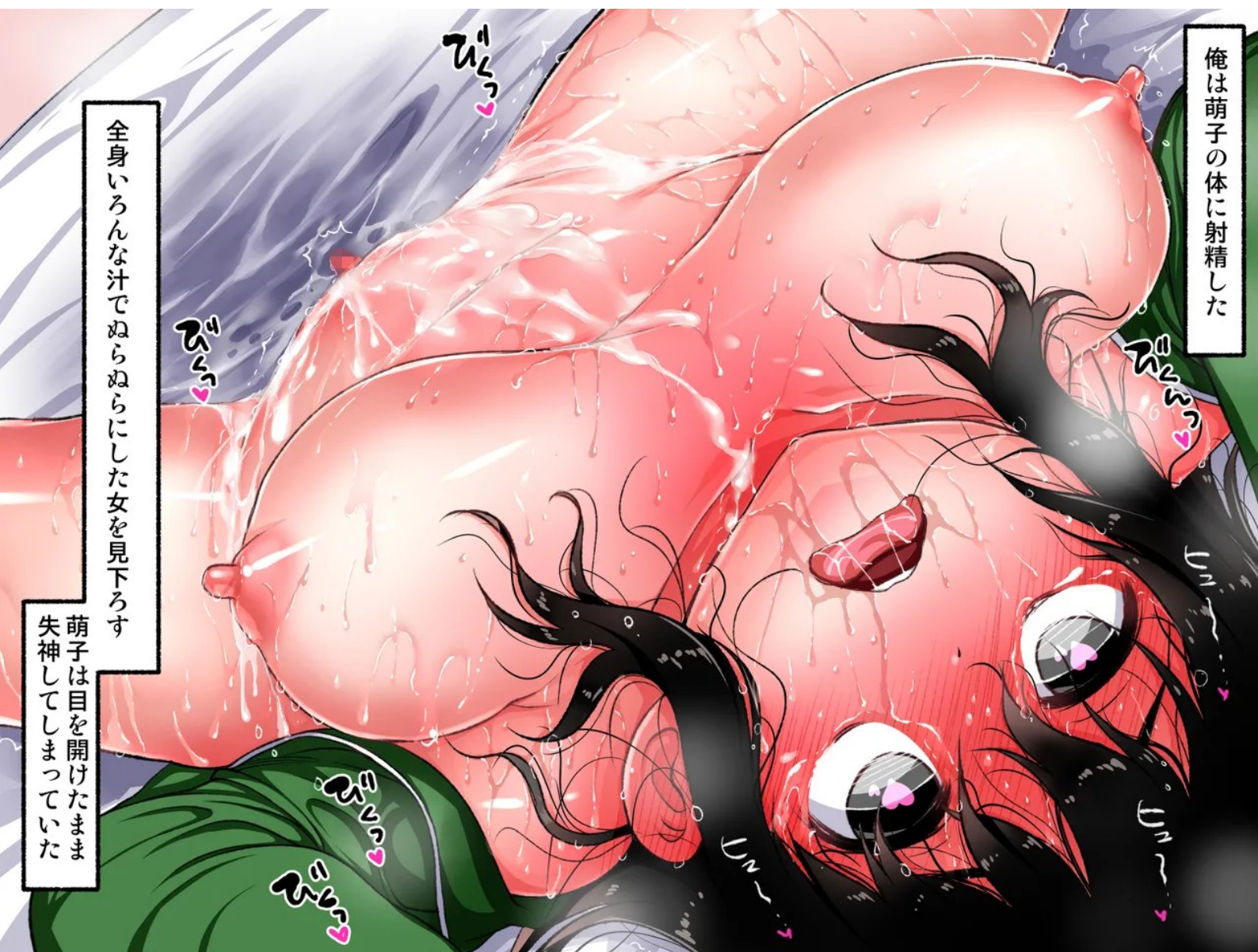
いくぞ萌子っ



俺は萌子の体に射精した

全身いろんな汁でぬらぬらにした女を見下ろす

萌子は目を開けたまま失神してしまっていた



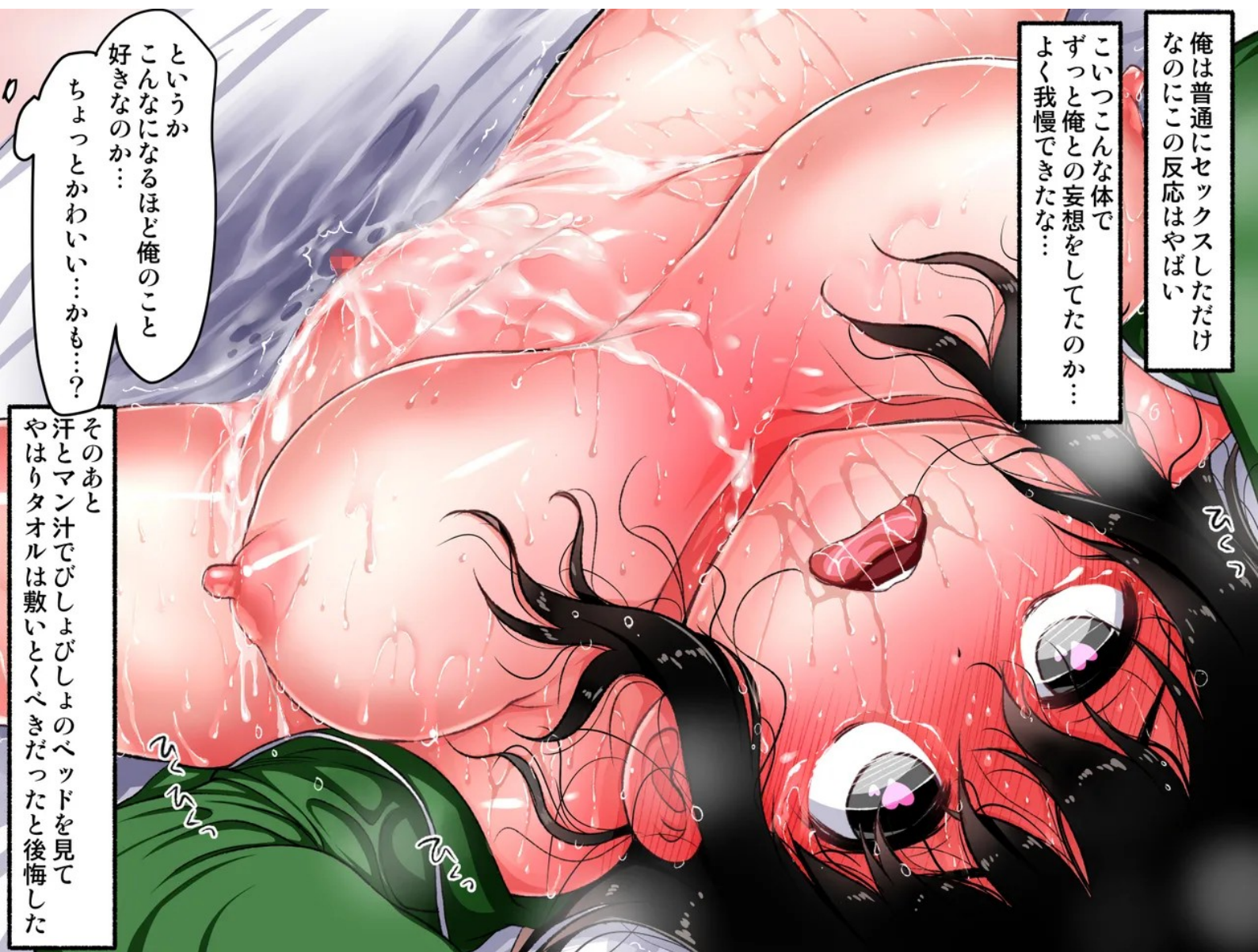
俺は普通にセックスしただけ
なのにこの反応はやばい

こいつこんな体で
ずっと俺との妄想をしてたのか…
よく我慢できたな…

というか
こんなになるほど俺のこと
好きなのか…

ちよっとかわいい…かも…？

そのあと
汗とマン汁でびしょびしょのベッドを見て
やはりタオルは敷いとくべきだったと後悔した



次の日の夜中

隣の妹の部屋から
なにかの振動する音と
小さな声が聞こえてきた



お兄ちゃん…

お兄ちゃん…

すき…

エッチしたい…

びゅ

びゅ

アイアイアイ…

グハハハ
グハハハ

お兄ちゃんとのエッチ…
死ぬほどきもちよかった…

お兄ちゃんに触られて…

お…おちんちん…
入れられて…

いっぱいイって…
すぎかった…
また触って欲しい…

びゅ





好きに使っていいぞ

あ
電マもちゃんと使えよ?

わ...わたしっ
お...お兄ちゃんの
おチンチン入れながら
オナニー...してるう...

おチンチンで
オナニーしてるの
見られてる...

うっ

うっ

ひっ

ガクガク

どうしよう...
恥ずかしい...死にそう...
でも...きもちいい...

気持ちいいのか?
凄い汁出てるぞ萌子

気持ちいいいいいい



お兄ちゃんのおチンチンきもちい...

お兄ちゃんのおチンチンきもちい...

お前いつもそれでオナニーしてんの？

う...うん...

カクカク

ふりちゅ

ふりちゅ

フイイイイ

俺とセックスする事考えながら？

そ...そう...っ

俺のチンコ気持ちいい？

気持ち...いいっ

質問すると
どんだん汁が溢れて
俺の腹はびしょびしょにされる



あつあつ♡

お…にいちや…♡

イク…♡

イク…♡

がが

がが

あゝあゝ♡

がが

がが

がががが

がががが

おまえすぐイクよな
エロすぎだろ

俺動いてもねえのに
入れてるだけでイクのかよ

ごめんなさ…

おにいちや…♡

イきたい…♡

いっ♡



あつあつ♡
もうだめええええ♡

はっ♡

はあ♡

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

ガク

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

凄え汗…
そんな気持ちいいのか？
俺のチンコ好きか？

あ…
好き…好き…♡
好き…好き…♡

も…ダメ…イク…
イク…イク…♡
イク…イク…♡



萌子は電マを強くクリに押し当て
息を詰めた

まんことチンコの隙間から
白いマン汁がぶちゅつと
溢れ締め付けてくる

萌子がイってる
やっぱりこいつのイキ方
エロいな

押し当てているせいか
電マの振動が俺のチンコにも伝わって
なかなかやばい



電マはそのまま当てとけよ

あッ
でも…っ
イッ
イってるの…
ずっとお…っ

いっ…っ

そう言いながらも
電マを強く押し当てる

あッ…

グ
グ
グ
グ
グ

グ
グ
グ
グ
グ

いっ…っ

無意識にだろぅが
萌子は快感を貪欲に
求めていく

俺の妹がど淫乱すぎる…



あゝ乳首...らめ...
乳首いじっちゃ...
あつ...あんんつ

なんで?
気持ちいいんだろ?

ここも...

ひやあつ
指...ダメ...ダメ...
いじらないれえ...っ

きもちいい
気持ちよすぎるよお...
むりい...

俺がチンコでギチギチのまんこに
指をネジ入れていじくりまわすと
萌子はまた電マを強く押し当てて
イこうとする
おいおいそんな強く押し当てたら
俺もやばいって

あまのこ

あま



あつあつ
出してえ…
わたしのなかで…
だしてえ…っ
だいじょうぶ…
だからあつ



あっ…!!

お兄ちゃんが…
わたしの中で…射精してる…

どろろ

どろろ

びしょ

あっ

びしょ

あっ

おにいちゃ…
あ…おにいちゃ…

ビクンビクンって…
出てるのわかるよお…

あっ

気持ちよくて中に出してしまったが
ほんとに大丈夫なのか…?

それから隙あらば
俺は萌子にエロい事を続けた

俺が何をしても嫌がらず
嬉しそうにしている萌子が
だんだん可愛く思えてきたのも
あるが…
何より体がエロすぎて
もつといじり倒したくてしょうがない

その日も
両親がいるダイニングのすぐそばで
萌子のまんこをいじってやった



パパとママがそこにいるのに...
お兄ちゃんに手マンされてる...

声出すなよ？
母さんたちにバレるぞ

お父さんお茶
これ佐藤さんに
いただいたの

新茶ですって

俺とおまえがエロい事してるって



一生懸命声を堪える萌子が
ちよっとかわいいなんて
俺もだいぶどうかしてるなと
思いながらも
手は止まらない
いじればいじるほど
どんどん溢れるマン汁

どんどん溢れちゃう…♡
妄想したこと…ある…これ…
ほんとにしてるんだ…♡
今…♡どうしよう…♡
気持ちいい…♡

クチュクチュと音がなると
萌子の全身から汗が滲み出す

萌子とやって気づいたこと
こいつは興奮したり
感じたりすると
凄い汗をかく
ということは
この状況に興奮してるって事だ
ほんとうにエロいやつ…

何か音しない？

気のせいだろう



しばらくいいじっていると
びくんと震えて萌子がいった

んん…

ひん

ぐん

いん
いん

ひん
ひん

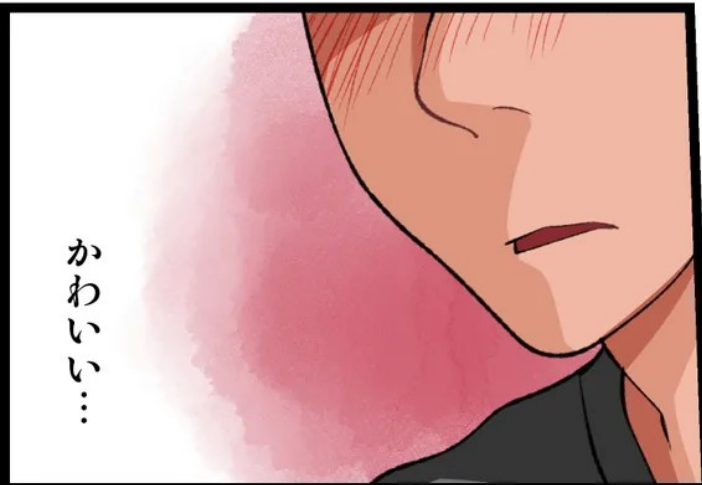
今萌子の声しなかったか？

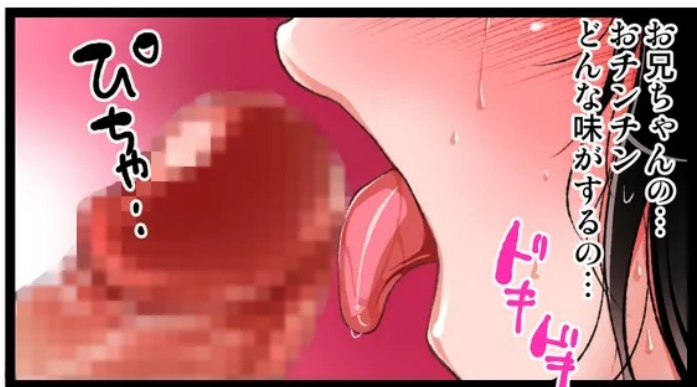
あつ…！
ダメ…声…出しちゃ…
バレちゃう…

パパとママに
みつかっちゃう…
バレちゃう…

あの子達まだ寝てるわよ
夏休みだからって
夜更かししすぎなの











これがわたしの中に
入ったんだ…

お兄ちゃん
わたしをいっぱい
気持ちよくしてくれた…

わたしも
お兄ちゃんを気持ちよく
したいな…

んっ

んっ

くちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ば…ばいずりって
難しい…

こ…こうかな…



先っぽ...舐めたらお汁出てきた...

ここ...好き?なのかな...

ん...

あ...お兄ちゃん声出してる...

かわいい...
もっと声出して...

もっと気持ちよくしてあげるから...



そうだ

音...もつと大きい音
出した方がいいのかな

んっ!!!

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

う!!!

びん



おいしいよお…♡
お兄ちゃんのお汁美味しい♡

ちゅっ

ちゅっちゅっ

ちゅっちゅっ

うっ
萌…っ

お兄ちゃん…♡
きもちいいの？



はぁっ
あつ

出る...っ

萌子...出る...

出して♡

出して♡

ムチャ

ムチャ

出していいよっ
お兄ちゃん!♡

ムチャ

ムチャ

ムチャ





はあはあ...

も...もえ...?

んんん...

ん...

んん...

んっ



はあ…♡

飲んだのか!?

えへ…♡
おにいちゃんの
美味しかった…♡
ありがとう…♡

はあ♡

はあ♡

はあ♡

なにこいつ…可愛すぎだろ…





あ

あつあつ
うそ...うそ...

舐めてる...
お兄ちゃんが
わたしのおっぱい
舐めてる...っ!!

はっ
はっ

あ

あ

想像でしか
叶わないって...
思ったのに...

ほっほんとに舐めてるよお

ぴゅっ
ぴゅっ



すげえ汁
どんどん出てくるぞ…

いっわないれえ…

は〜るは〜る

うわ…また溢れた…
恥ずかしいと
感じるのか…やっぱエロい…

は

は

気持ちいい♡
気持ちいい♡
想像よりずっと
ずつと気持ちいい♡
なにこれ…
すごい…♡

お兄ちゃんの舌気持ちいい♡

舌…入ってる…中
舐められてるう…っ♡

ちゅんちゅん
ちゅんちゅん

ちゅん

ちゅん♡





汁やべえ…
もう汗だか汁だかなんだかわかんねえ…
量が多くて溺れそう…

萌子の全身が小刻みに痙攣し始めた
同時に舌が締め付けられる

そろそろいくか？



うわっ 潮噴いた!

ダメええ...っ

萌子は俺の顔の上で盛大にイッた
大量の潮やらマン汁でびしょびしょだ…

見上げると
滝のような汗を流して
痙攣している萌子の
赤く染まったエロい身体

俺はまたボツキしたチンコを
どうしようかと考えていた

ドロオオオ



その日

ほとんど外に出ない萌子が
顔を赤くして
「お兄ちゃんとデートがしたい」
と言うもんだから
出かけることにした

へ…変じゃない？

もじ

もじ

髪は相変わらずボサボサだったが
少しは整えてある
服装は…それサイズ合ってるのか？
と言いたくなる格好だが…

大丈夫じゃないか？

あえてそう答えた



あ…あのね…
ぱ…ぱんつ…
履いてないの…

え？

おいおい…
大丈夫じゃないぞ？

エッチなデートが
したいってことか？

……うん…

兄として少しばかり
エロすぎる妹が
心配になるが…

俺も少し興奮していた





ずっとしてみたかった
お兄ちゃんとエッチなデート…

ほんとにできると
思わなかった…
ドキドキする…
ゆめみたい…

アッ…

どうしよう…ぬるぬる
お汁がたれちゃってる…

バレないかな…

萌子がその気なら
俺も遠慮はしないことにした

電車の中
ドア付近の隅を陣取り
萌子の胸を揉みしだき
まんこをいじる

ドキ
ドキ

でっ電車で
お兄ちゃん
エッチなことしてる…

おっばい…
見えちゃう…っ
ど…どうしよう
恥ずかしいよお…

くちゅ

くちゅ

カッ
タッ
カッ
タッ

そこはもうびしょびしょで
萌子がどれだけ期待していたのか
よくわかる

くちゅ

くちゅ

くちゅ

流石に声を出さないように
耐えているが
嫌がるそぶりは見せない萌子

どこまで
我慢できるだろう



恥ずかしいのに
感じちゃう…
おにいちゃんに
触られて…
気持ち良くなっちゃう

あ…だめ…
そこだめ…
おにいちゃ…

ハァン…
ハァン



きもちいい…♡
きもちいい…♡
きもちいい…♡

ぐちゃっ
ぐちゃっ

周りは男だらけで
知らんふりをしてるが
多分気づいてる

クチュクチュ…聞こえちゃう
わたしのエッチな音…
聞こえちゃう…

わたしがお兄ちゃんに触られて…
気持ちよくて…濡れてる…音…
きこえちゃうよお…

揉んでいる胸から
鼓動が伝わってくる
萌子の奴興奮してるな

この濡れっぷりからも
わかるけど…

し…心臓
破裂しそう…
おにいちゃん…
たすけてえ…

カタン…



萌子は小さくなんともイキ続けた

その後駅に着くまで



ビクツと萌子が震えた

いったな…

まんこから
大量の汁が出てきた

ぐちゅぐちゅとわざと音を立ててやる

明らかに周りの男どもの
様子がおかしい
このエロい女は俺のだぞ
羨ましいか

優越感と…これは独占欲？

俺は萌子を誰にも
渡したくないなんて
思ってる

ガタン
ガタン

駅に着くなり
萌子が入れて欲しいと言い出して
男子トイレへ直行した

ひんっ

ほら萌子っ
おまえが欲しがってる
チンコだっ

あッ

あッ
あッ

おにいちゃあ…っ

ひんっ

ひんっ

ひんっ

幸い誰もいなくてそのまま個室へと入り
ぐちゃぐちゃに濡れた萌子のまんこに
勃起したチンコを突っ込む

その瞬間萌子はイった





はっ♡

おっおまんこ...
きもちいい♡

おめひさ♡ おめひさ♡

おめひさの...♡

おめひさ...♡♡

ンア♡
あっ♡

おに...ひや...のおっ♡

わっ

わっ

俺も...っ
萌子のまんこ
きもちいい...ッ

かっ





あッ

おにいひやんの
おチンチン
きもちい...っ

あッ

おまんこきもちい...

あッ

あッ

ガッ ガッ

おにいひや...好き...
おにいひやんすきい...ッ

あッ

はーっ
はーっ

はーっ

もつと...
もつと突い...

いくぞ萌子!

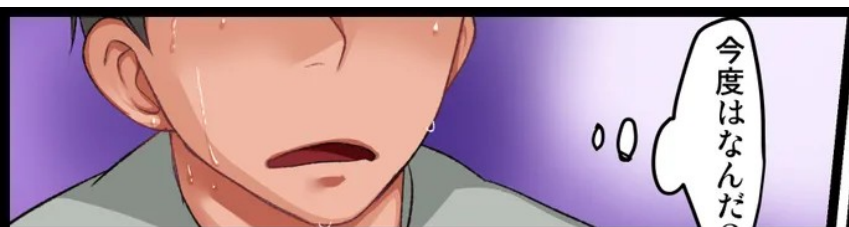
いくぞっ!!

中...中...っ

ガッ

ガッ





どんなエロいお願いを
されるのかと思いきや
それは可愛いお願いで

俺は萌子にキスをしてやった

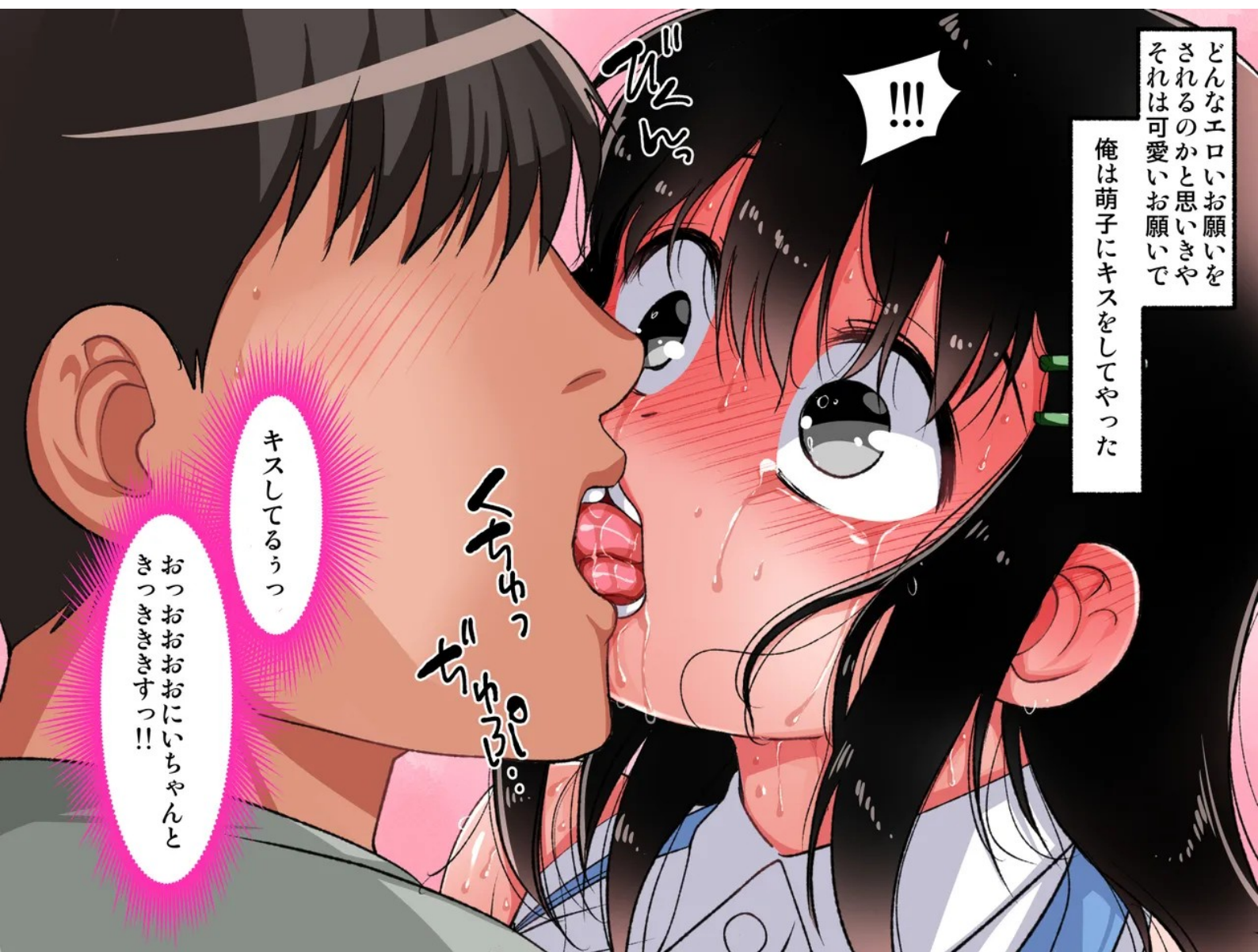
!!!

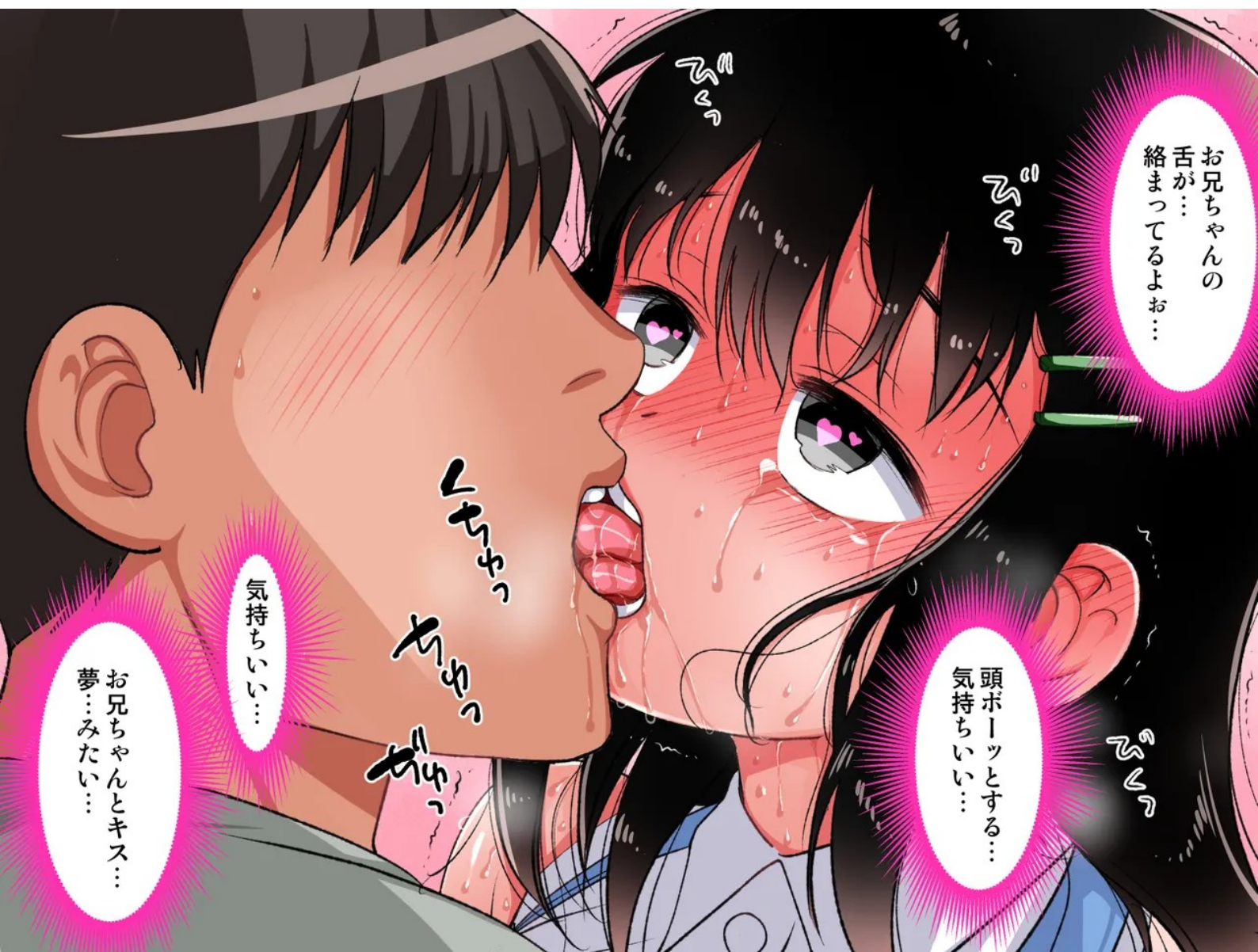
んんん

くちゅっ
ちゅっ

キスしてるうつ

おっおおおにちゃんと
きつききすすっ!!





お兄ちゃんの
舌が…
絡まってるよお…

頭
ポーツとする…
気持ちいい…

気持ちいい…

お兄ちゃんとキス…
夢…みたい…

くちゅっ

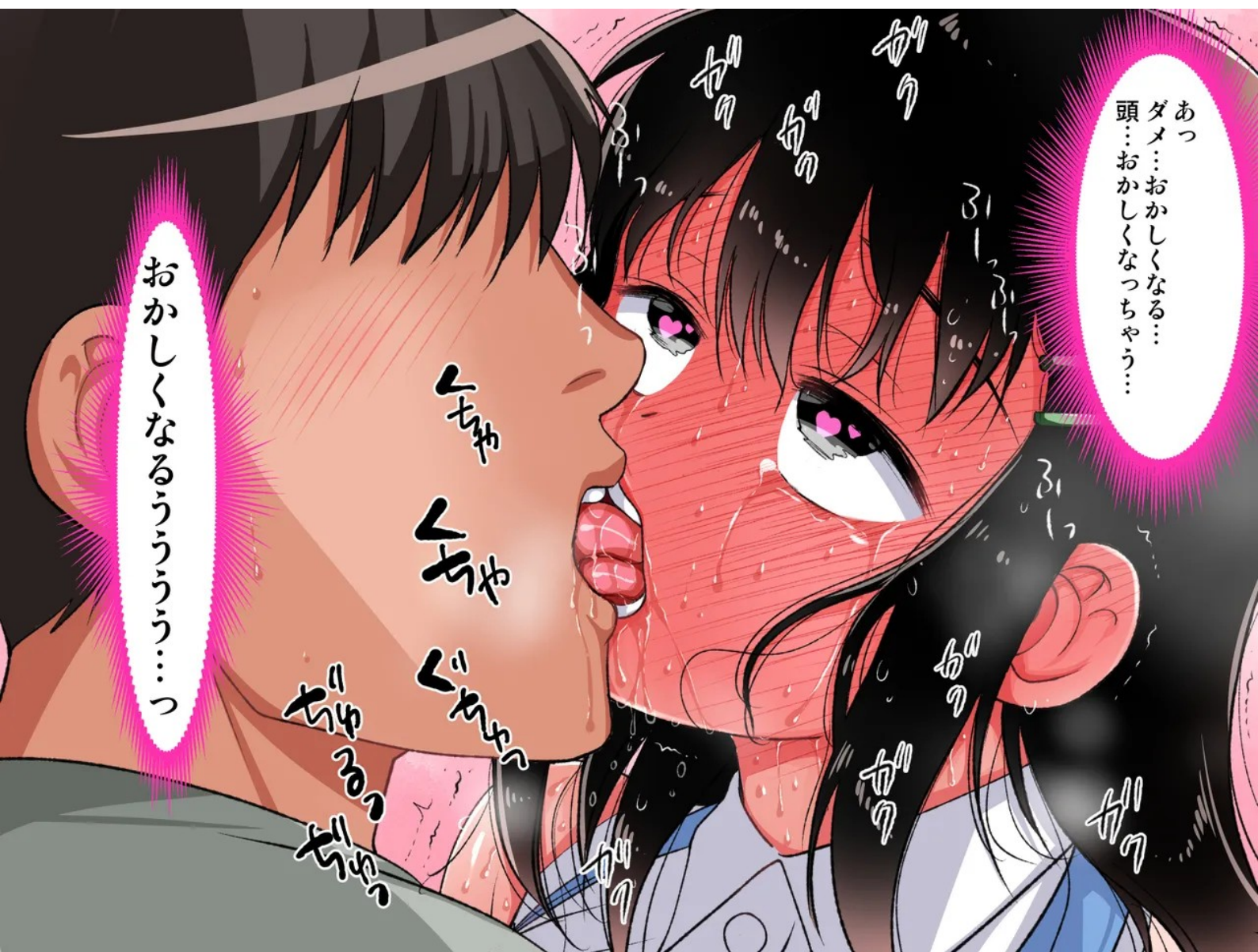
ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ



あつ
ダメ…おかしくなる…
頭…おかしくなっちゃう…

おかしくなるううう…っ

突然温かいものが下半身を濡らすのを感じ
見てみるとそれはおしっこで…

じょうろ
おしっこ

萌子はキスだけで漏らしながら絶頂していた





キスでいった萌子はその後も
ずっとイキっぱなしで
ひっきりなしに声を上げていた

何度か人の気配を感じたが
それにも気付かず
イきまくる

あー
おにいちゃ...
きもちい

あー
こすって...中...
ぐちゃぐちゃ...つて

あー

あー

あー

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ



おまえのまんこ
きもちいいっ

ひっ

ひっ
:

萌子の膣内はぐちゃぐちゃで
細かな突起がチンコに絡みつく

ぐっ
ぶっ

ぐっ
ちゅんっ

ひっ

ああ...萌子...っ
きもちいい

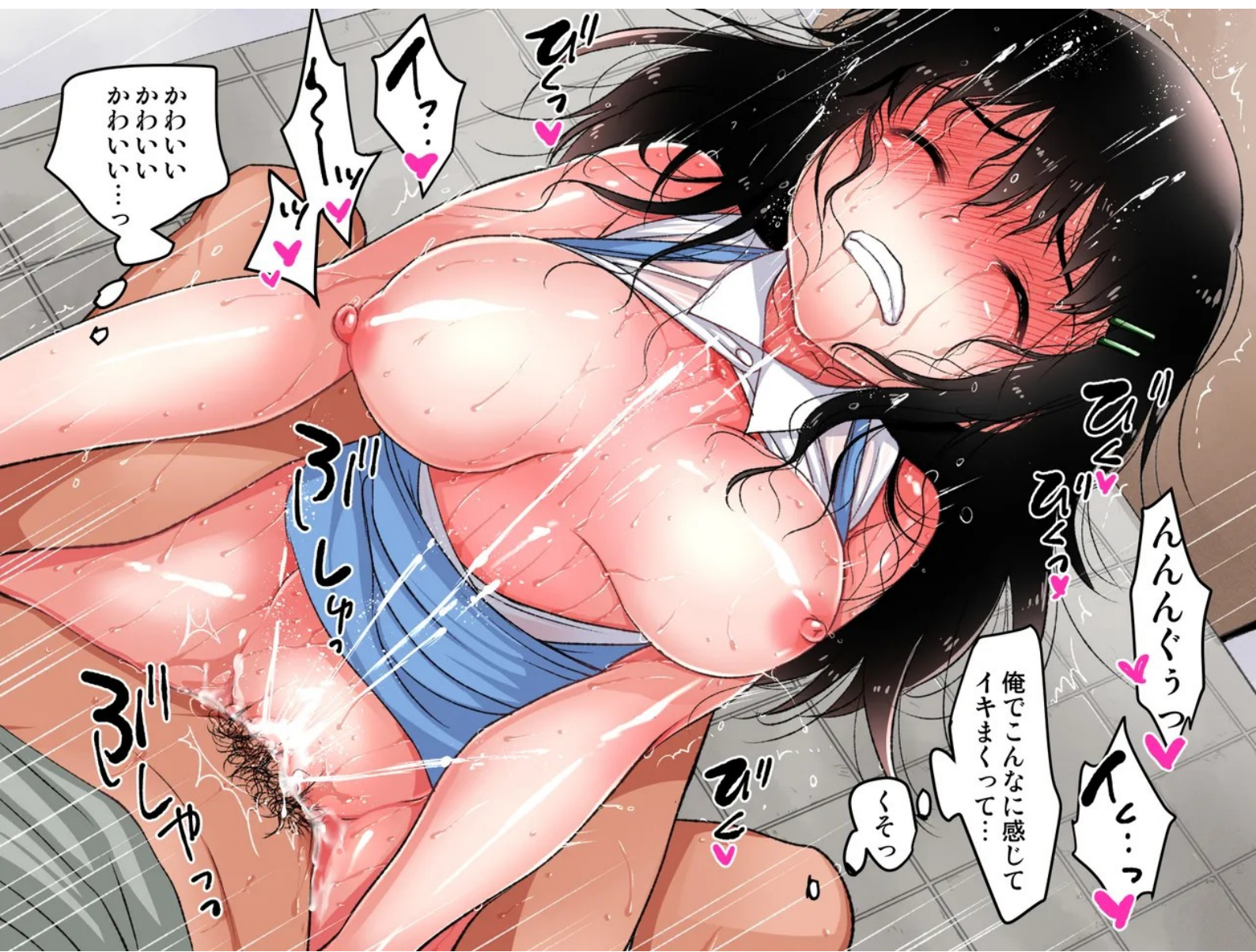
お兄ちゃん
お兄ちゃん
お兄ちゃん
お兄ちゃん

ひっ
ひぐっ

ひっ
ひぐっ

ひっ
ひぐっ







あーっ

あーっ

しんじや...
も...しんじやう...

あーっ

あーっ

おこひや...

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

そんなに俺の事が
好きなのか...っ

しゅき...
おにいちゃん...
だいしゅきい...

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



このとき俺は妹である萌子を
本気で愛おしいと思いはじめていた

イキすぎてぐったりする萌子を連れ
駅の近くにホテルに飛び込み
俺は萌子を抱きまくった
可度も中で

何度も中で射精して
萌子の中は
精液だかマン汁だかわからない汁で
ぐちゃぐちゃで

突くたびにそれが中から溢れ飛び散り
シートを濡らす

ぽっ
ちゅ

いっしょ



あつ
おにいちや
好きっ
♡

好きっ

好主人

俺も好きだ！

萌子つ





あーっ
いやあ...もつと
もつとお...っ

カッ

あーっ
おにいちや...もつと突いて...

いんちき

アチャッ

ドロ
ドロ

カッ

あーっ
おまんこ突いて...

奥まれ突いれえ...!!
子宮でイかせれええ!

おっ...おにいひやんの...っ
おちんちんれ...っ
奥イキさせれええええっ!

あーっ
あーっ





今までにないぐらい盛大にイった萌子は
あらゆる汁を垂れ流し失神した

ああ…思わず好きだって
言っちゃったけど…

まあいいか…
認めよう…

俺も萌子が好きみたいだ…



最近
萌子は妄想ではなく
俺と体験談を
ブログに書いている

あん♡

まって…おにいちゃ…

字が打てない…ンツ♡

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

ぐちゃっ

読んでる奴らも
リアルタイム体験談だとは思わないだろうな

そーいやあ
読者増えたって言ってたっけ？

おまえとエッチしたいとか
言ってくるやついるんじゃないの？

いる…けど…
わたし…お兄ちゃんじゃなきゃだ…

「ハッハッハッ」
「ハッハッハッ」

じゃあ俺とのはめどろ
撮ってのつけちゃう？

え…っ

「ハッ」

「ハッハッハッ」

「ハッハッハッ」

「ハッ」

「ハッ」

やっぱやめ

俺が見せたくない

いっ
ちゅっ
いっ
ちゅっ

びくっ

びくっ

びくっ

びくっ
びくっ

あ

おにいちゃ...

あっ

あんっ

あ
あ

おにいちゃん
それって...
わたしのこと...
ほんとに...

あ

今イッたろ？
じゃあほら
ちゃんと書かないとな
今日イッたの何回目？

あつ♡
わかんない…あ…♡

あつ♡

ふっ♡

ふっ♡

ふっ♡

ふっ♡

ふっ♡

そうだよなあ
わかんないくらい
イってるもんな

あッ♡
ギモち…
イ♡

俺もそろそろ出そう…

おっ

おっ

おっ

出すぞ

ひゅ

ちようだい…お兄ちゃんっ
奥に出して！
赤ちゃんの種いっぱい
奥にちようらい…っ！

あ
あ
あ

おたしモ

ん
ん
ん
ん
ん



ト
70
ッ

ト
70
ト
70
ッ

ア
ッ

ひゅ
ッ

オ
ッ
オ
ッ

